

第2回鎌倉市腰越漁港指定管理者選定委員会 議事概要

1 日時

令和7年10月8日（水） 9時25分～10時40分

2 場所

鎌倉市役所2階 第2委員会室

3 審議等内容

(1) 書類審査結果の報告

応募者から提出された書類に基づき、応募資格を満たしているか事務局で審査を行った結果、応募者である腰越漁業協同組合は応募資格を満たしていることを報告した。

(2) 応募者(腰越漁業協同組合)によるプレゼンテーション

地域に開かれた漁港を目指し、魚の直売、みなとまつりや船祝いのイベントを開催するなど、市民との交流に努めることで、市民の漁業に対する理解を深めている。

また、地元の小学生にワカメの養殖体験や稚魚・稚貝の放流等を身近に体験してもらうなど、学習支援にも積極的に取り組んでいる。

近年海の状況は悪くなり、漁獲が下がり、漁業を営む者として、以前より厳しい状況にある。また、漁業者の高齢化により、後継者も少なくなっている状況であるが、引き続き適正な管理、運営をしていきたいと考えている。事業計画については既に提出している資料の通りである。以上。

(3) 応募者に対する質疑等

委員：令和8年度から令和12年度までの収支予算書の金額が同一になっているが、昨今の人件費高騰の状況は踏まえているのか。

応募者：財政的に厳しい状況であるが、最低賃金の上昇にあわせて上げていく。

委員：コロナ禍で駐車台数が減ったと思うが、回復してきているのか。

応募者：コロナ禍は3密を避けるということもあり、漁港に来る人が多かったのも、コロナ禍の方が多かった。令和2年度32,000台であった駐車台数は、駐車料金を500円から700円に値上げしたことや江ノ電沿線など近隣に駐車場が増えたことで令和6年度に25,000台まで減少したが、これで下げ止まりだと考えている。

委員：駐車の利用料金の今後の見通しを教えてください。また、収入の項目が駐車の利用料だけだが、これまで他になかったのか。例えば、直販事業もあるが、収入を増やすための今後の考え方について教えてください。

応募者：駐車利用する人の半数は釣船を利用する人で、これ以上駐車料金を上げることは難しい。また元の金額に戻したい気持ちもあるが、市との協議結果も踏まえたものとしている。また、直販事業については、腰越漁業協同組合に所属する組合員がボランティアでやっていて、ほとんど利益が無く、市民に対する還元事業としてやっている。収入は駐車の利用料のみを掲載している。

委員：係船料はありますか。

応募者：組合員のみが係船していて、係船料はとっていない。

委員：指定管理者としての収支報告書を過去5年分見たが、直近の令和6年度のものがそれ以前の4年分と異なっている。具体的には、令和6年度だけ支出のうち租税公課について、簡易課税で計算されていない。また、消費税の申告は、指定管理者として計算しているわけではなく、漁業協同組合全体で一括で作成して、指定管理者分を按分して計上しているのか。

応募者：計算は全て税理士がやっている。

委員：収支報告書の作成も税理士にお願いしているのか。

応募者：はい。

委員：漁業協同組合全体のものは合っていると思うが、直近の令和6年度分の収支報告書と令和8年度以降の収支予算書の金額の修正については、市と相談しながら進めてほしい。

応募者：わかりました。

委員：地域に開かれた漁港を目指し、色々努力されている中で、海の状況が変わり苦労もされていると思う。過去に漁港内に新たな施設を作って、さらに地域に開かれた漁港を目指すという動きもあったと記憶しているが、今後の新たな展開は考えているか。

応募者：腰越漁港は江ノ島と鎌倉の間に位置し、江ノ電も近いという地理的な利点があると考えている。組合に確実にプラスになる事業を考えていく。

委員：市への納付金が300万円に下がると聞いたが、その金額が過重になるかもしれないがいかがか。

応募者：組合として3年間赤字を出したこともあり、市の配慮のもこの金額とした。

(4) 採点及び指定管理候補者の選定

プレゼンテーション及び質疑を踏まえ、応募者の退室後に採点を行った結果、腰越漁業協同組合が指定管理者候補者として選定された。